

令和元年度「これからの時代に求められる資質・能力を育むためのカリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究」 採択一覧

(研究テーマ)

a : 学校の教育目標等の設定及び実現に向けた研究

b : 学習の基盤となる資質・能力の育成に向けた研究

c : 現代的な諸課題に対応するための資質・能力の育成に向けた研究

実践地域	研究テーマ	実践校	研究概要
京都市	a	京都市立向島秀蓮小中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 付けたい資質・能力：「コミュニケーション力」「発信する力」「考える力」</li> <li>◆ クリティカルシンキングを意識した単元・授業構想と、授業と家庭学習のサイクル化（自学自習の確立）の両立</li> </ul>
	b	京都市立太秦中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 付けたい資質・能力：「自ら考え、自ら表現する力」（言語能力・課題解決力）</li> <li>◆ 生徒自身が自らの活動をPDCAサイクルで見直し、学校生活の在り方の改善を図る。</li> </ul>
	c	京都市立葵小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 付けたい資質・能力：新たな価値を生み出す「人間関係力」（言語能力・課題解決力）</li> <li>◆ 全教職員が参画する「葵戦略会議」においてSWOT分析、関連単元配列表の作成</li> </ul>
山口県	a	岩国市立東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 施設一体型・併設型小中一貫教育校の開校に向けた目指す子供像の具体化</li> <li>◆ キャリア教育を柱とした9年間を見通したカリキュラムの編成</li> </ul>
	b	山口市立平川中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 言語能力の育成を軸としたカリキュラムの編成</li> <li>◆ 「やまぐち型地域連携教育」を活用した言語能力の育成を目指す取組の実施</li> </ul>
	c	宇部市立上宇部中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 授業におけるコミュニティ・スクールの仕組みの活用</li> <li>◆ 地域と連携したカリキュラムの見直し、編成</li> </ul>
大分県	a	豊後高田市立真玉小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県で作成した総合とカリマネの手引きを活用した総合的な学習の時間を核とした教育課程の編成・実施</li> <li>◆ 効果的に実践する校内組織の在り方、編成した教育課程の評価方法の研究</li> </ul>

	b	豊後高田市立香々地小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県で作成した「言語能力育成ハンドブック」を活用した国語科を要とした教育課程の編成・実施</li> <li>◆ 効果的に実践する校内組織の在り方、編成した教育課程の評価方法の研究</li> </ul>
	c	豊後高田市立田染中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県で作成した総合とカリマネの手引きを活用した伝統や文化を視点にした教科等横断的な教育課程の編成・実施</li> <li>◆ 効果的に実践する校内組織の在り方、編成した教育課程の評価方法の研究</li> </ul>
	a	日出町立藤原小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県で作成した総合とカリマネの手引きを活用した総合的な学習の時間を核とした教育課程の編成・実施</li> <li>◆ 効果的に実践する校内組織の在り方、編成した教育課程の評価方法の研究</li> </ul>
	b	日出町立日出小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 県で作成した「言語能力育成ハンドブック」を活用した国語科を要とした教育課程の編成・実施</li> <li>◆ 効果的に実践する校内組織の在り方、編成した教育課程の評価方法の研究</li> </ul>
大阪府	a	枚方市立第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自信をもって学べる子どもの育成、「表現力」・「コミュニケーション力」の育成、主体的、対話的な学びの実現による学力向上</li> <li>◆ 定期的な研修による授業力向上並びに義務教育9年間を通じた自己肯定感の向上</li> </ul>
	a	和泉市立信太小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 目指す子ども像「元気で明るい子」「よく考えやりぬく子」「仲良く助け合う子」の実現</li> <li>◆ 目標の実現の状況を見取る学力調査や児童・保護者アンケートの実施による成果の検証</li> </ul>
	b	摂津市立摂津小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 目指す子ども像 「これまでの学習や経験を生かして学べる子ども」 「自分で考え、自分で判断できる子ども」 「学んだことを応用したり、新たなものを創造したりできる子ども」 「自分や友だちのよさを知り、自分も相手も大切にできる子ども」 「自ら進んで考えたり、新たなことに挑戦したりできる子ども」 「(学習や経験から)学んだことを生かそうとできる子ども」</li> </ul> <p>に迫るための、教科横断的なカリキュラムの編成</p>

			◆ 既習事項や他教科とのつながりに気づき、つながりを生かす学習指導
	b	枚方市立招提小学校	◆ 国語科を中心とした言語能力の育成を図る授業についての研究 ・各教科等を横断した言語能力育成に向けた年間指導計画の作成及び「身につけたい力」と「質の高い言語活動」を意識した授業づくり ・府教育庁作成の教材「ことばのちから」を活用した招提チャレンジ(学期末テスト)の実施及び児童の意識・学習状況調査に基づいた授業改善
	b	和泉市立北池田小学校	◆ 「単元全体を通した言語活動」を通して、「目的や意図に応じて、複数の資料から自分の考えをもち、表現する資質・能力の育成」に向けた授業づくり ◆ 校内研究体制の充実（PDCA サイクルの確立）及び校内の人的資源の活用
	c	熊取町立西小学校	◆ 「食に関する教育」について、学校教育目標に則り、栄養、マナー、コミュニケーション、感謝、喜び等、食を通じた様々な学びを深める ◆ 定期的に児童アンケートを実施し、実践の成果を見取り、指導計画、内容を改善
	c	岬町立深日小学校	◆ 郷土や地域に関する教育として、「ひと・まち・つながる教育」の推進 ◆ 取組みの中で定期的に児童アンケートを実施し、指導計画、内容の改善
国立大学法人 宮城教育大学	abc	宮城教育大学附属小学校	◆ 学校教育目標「体も心もたくましく、しかも、しなやかな子供」の具現化に向け、各教科等における「学ぶ意義」や「役割」とは何かを改めて明らかにし、教科等で目指す授業像を設定する。 ◆ 各教科等及び教材の持つ本質を明確にしていくとともに、児童に各教科等における見方・考え方を働かせながら本質に触れさせていくことで、問い（課題意識）を明確に持たせ、主体的な学びを展開させ、深い学びの実現を目指す。 ◆ ①小学校外国語教育における指導と評価の一体化 ②CS（コンピュータ・サイエンス）のカリキュラム化 ③道徳教育の充実
尾道市	a	尾道市立向島中央小学校	◆ 学校教育目標の実現、資質・能力の育成に向けた小中9年間の系統性を踏まえたカリキュラム・マネジメント ◆ 学校教育目標の達成や資質・能力の育成に向けて、各教科等（算数科、道徳科、総合的

			な学習の時間) の教育内容を教科横断的な視点で再組織し、実践、改善する。
	b	尾道市立高見小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中学校区で育てたい学習の基盤となる資質・能力の育成を図るための小中9年間の系統性を踏まえたカリキュラム・マネジメント</li> <li>◆ 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を高め、学びの主体者を育てるために、各教科等(理科、生活科、総合的な学習の時間)や他の教育活動に横断的な視点を取り入れた指導計画を作成する。</li> </ul>
	b	尾道市立三幸小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中学校区で育てたい学習の基盤となる資質・能力の育成を図るための小中9年間の系統性を踏まえたカリキュラム・マネジメント</li> <li>◆ 言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等を高め、学びの主体者を育てるために、各教科等(算数科、総合的な学習の時間)や他の教育活動に横断的な視点を取り入れた指導計画を作成する。</li> </ul>
	c	尾道市立向島中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成を核とした小中9年間の系統性を踏まえた総合的な学習の時間におけるカリキュラム・マネジメント</li> <li>◆ 総合的な学習の時間を軸とした9年間の系統的なカリキュラムを作成する。</li> </ul>
国立大学法人 福岡教育大学	abc	福岡教育大学附属小倉中学校	◆ 資質・能力を「創造的実践力」として捉え直し、その育成のための教科等横断学習テーマ(学習内容)設定の原理、方法を提案する。
由利本荘市	a	由利本荘市立西目中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学校教育目標や目指す生徒像の実現に向け、「創造力」の育成を基盤として全教育活動を意図的・組織的に見直す。</li> <li>◆ ESD(持続可能な開発のための教育)と関連付けた総合的な学習の時間において、育成したい力が活用、発揮される方向に推進する。</li> </ul>
	b	由利本荘市立西目小学校	◆ 子どもに育成すべき資質・能力として「学びの価値を見出す力」「論理的な思考力」「考えが伝わる表現力」の3点を設定する。その上で、「カリキュラム・デザインの活用と学びを拓く単元構想」「学びをつなげる手立ての工夫」を重点に研究を進める。
	c	由利本荘市立岩城小学校	◆ 「郷土や地域に関する教育」の推進のために、郷土の人的・物的資源を活用する。

			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 意識調査を行い、学校運営協議会委員等の意見をもとにした、検証改善サイクルを確立する。</li> </ul>
戸田市	a	戸田市立戸田第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学校教育目標を具現化するための資質・能力の構造化と評価基準の設定</li> <li>◆ プロジェクト型学習による生活科・総合的な学習の時間を基軸とした、教科等横断的な学びのためのカリキュラム・マネジメントの実現</li> <li>◆ 授業改善や学校経営の改善につなげる多角的な PDCA サイクルの確立</li> </ul>
	b	戸田市立美笹中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ NIE を活用した言語能力や情報活用・分析力、論理的思考力等の育成</li> <li>◆ プロジェクト型学習の導入を基軸とした、学習指導、生活指導、学習意欲向上の各観点からの非認知能力育成のための総合的な取組の推進</li> </ul>
	c	戸田市立新曽小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ セサミストリート・カリキュラムの効果的な導入による多様性への理解等の推進</li> <li>◆ 現代的な諸課題への対応力のために不可欠な「7つの力（豊かな言語能力、伝え合う力、協働力、聞く力、やりぬく力など）」を身につけるための授業改善の在り方等の研究</li> </ul>
国立大学法人 信州大学	a	長野市立加茂小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 市教委の教育進行基本計画に基づいた学校経営グランドデザインと到達目標として示す「加茂小スタンダード」の設定の検証と、目標に即した系統性を重視した教育課程の編成について。</li> </ul>
	b	長野市立西部中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ わかる喜び・学習意欲の向上を目指し、各教科における見方・考え方を重視したカリキュラム編成と授業実践の展開について</li> </ul>
	c	長野市立長野中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小・中・高校を一貫するカリキュラムの開発と、教科横断的な内容を能動的に展開する P B L の展開について。</li> </ul>
市川市	a	市川市立富貴島小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 付けたい資質・能力：「学びに向かう力」「実生活で生きて働く読む能力」</li> <li>◆ 資質・能力を意図的・計画的・継続的に育むため、『市川の学校教育三カ年計画（創意と活力ある学校づくり）推進計画』を元に推進</li> </ul>
	b	市川市立宮田小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 付けたい資質・能力：「人間関係形成力」（課題解決力・コミュニケーション力）</li> <li>◆ 学級活動を軸として、「聴き合い」「話し合い」を意図的に設定した教科横断的なカリキ</li> </ul>

			<p>ュラムを構成、持続可能な社会づくりに向けた態度の育成、自然体験活動の充実</p>
	c	市川市立第一中学校	<p>◆ 付きたい資質・能力：地域や異校種の連携を基盤にした「学びに向かう力」</p> <p>◆ 地域の教育資源を活用したカリキュラムを編成し、実践・検証・改善をする</p>
上越市	a	上越市立春日新田小学校	<p>◆ 認め合い進んで学び合う子の育成 ～ステーション授業構想による集団づくり～</p> <p>◆ 「かかわり方課題」の日常化、一般化を図ることで、認め合い進んで学び合う学級集団づくり</p>
	b	上越市立城北中学校	<p>◆ 各教科・領域において、SDGs（ユネスコスクールとして）、城北UDL（ユニバーサルデザインラーニング）を視点として学習の基盤となるであろう資質・能力を明確に設定し、授業改善を図っていく。</p>
	c	上越市立高士小学校	<p>◆ 総合的な学習の時間を中心に教科等横断的な視点により、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成につなげる複式のカリキュラムを創造する。</p>
鹿児島県	a	鹿児島県立蒲生高等学校	<p>◆ 全ての教育活動が、それぞれどのような資質・能力を育成し、育てたい生徒像や学校の教育目標の実現につながっているのかについて、職員が共通理解を図る手法や教育目標の実現に向けたPDCAサイクルを効果的に活用する方法を確立する。</p>
	b	鹿児島県立大口高等学校	<p>◆ 地域活性化活動への実践的取組や教科等の探究的な取組を通して、学習の基盤となる、言語能力、問題発見・解決能力、情報活用能力を育成する。</p>
	c	鹿児島県立屋久島高等学校	<p>◆ 地域研究施設や先進的な環境学習を実施している学校、大学などと連携・協働し、教科横断的な視点で、環境問題等の現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成する。</p>
兵庫県	a	兵庫県立姫路北高等学校	<p>◆ 生徒・保護者・企業・教職員へのアンケート結果を基に、育成を図る生徒の資質・能力を明確にし、次の①～③に取り組む。①4つの資質・能力(学力・協調性・主体性・社会性)を向上させるための総合的な生徒指導と進路指導②教科横断的な視点・手法を用いて「生徒が分かる授業」を追求するために、全教員で行う授業改善③特別活動を含むあらゆる教育活動におけるPDCAサイクルの活用</p>

	b	兵庫県立北条高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 言語活動を中心として、情報活用能力、問題発見・解決能力等、どの教科にも共通し、学習の基盤となる資質・汎用的能力に関して、市内の4つの中学校と連携して、中学校及び高等学校で求められる学びに連続性を持たせ、高等学校で身に付けるべき資質・能力を効果的に育成する研究を行う。</li> </ul>
	c	兵庫県立尼崎稲園高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「知の総合化」をキーワードに、「自己の学びのカリキュラム・マネジメント」ができる生徒の育成を目指す授業改善や、評価基準の見直し、学校のグランドデザインの再構築を進め、現代的な諸課題に対応するための資質・能力の育成を図る。</li> <li>◆ 県立教育研修所情報教育研修課の協力により、ネットワーク上に「知の総合資料室」を作りデータベース化を図る。</li> </ul>
宮崎県	a	宮崎県立日向高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「学校魅力化プロジェクト」～カリキュラム・マネジメントで生徒を伸ばす～</li> <li>◆ 教育目標の実現に向けた組織づくりや学校行事の在り方の研究</li> </ul>
	b	宮崎県立都城西高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「資質・能力」を育成する教科横断的なカリキュラムの実践研究</li> <li>◆ 「生徒に身に付けさせたい資質・能力」として「コミュニケーション能力」「論理的思考力」「課題発見・解決能力」等を設定し、各教科におけるカリキュラムの研究</li> </ul>
	c	宮崎県立宮崎南高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 「総合的な探究の時間を通して教科横断的なカリキュラムの開発」</li> <li>◆ 「総合的な探究の時間」における地域課題研究（宮崎の工業、農業、食、観光、教育、起業など）を中核とした教科横断的なカリキュラムの研究</li> </ul>